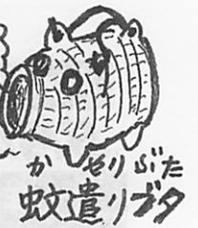


九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.139

2010(平成22)年7月12日(月)発行



エラスムス

〈500年前のオランダのルネサンス時代の人文主義者エラスムスの命日〉

「戦争は獣のためにこそあれ、人間のためにはない、実に凶悪なものです。…キリストとは何の関係もない不敬冒瀆なのです。しかるに法王さまがたは一切を無視して戦争をその主な仕事にしていらっしゃる。…戦争のためとあらば、若々しい情熱を注ぎ込み、金銭を投げ出し、疲労を物ともせず、何もの前にも後ずさりせず、法律、宗教、平和、人類全体をメチャメチャにしておしまいになります。」(エラスムス『愚神礼賛ぐしんらいさん』)

漫画家たちも戦争を憎み、作品の原点にしています！

日本のアニメやマンガは世界でも大変高い評価を得ています。でも、その漫画家たちのマンガを描く原点に、実はさまざまな自分の悲惨な戦争体験がひそんでいるようです。

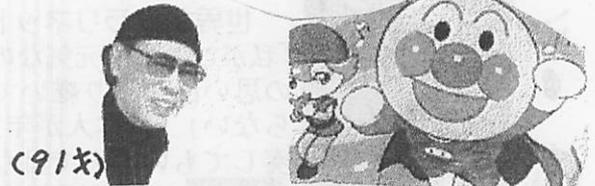
水木しげる



●現在人気放映中のNHK連続テレビ小説『ゲゲゲの女房』は、漫画家水木しげると、その妻の武良布枝むらぬのえが主人公。●水木は1922年鳥取県境港出身。召集されラッパ手を命じられるが信号ラッパが上手く吹けず、歩兵として南方行きが決定。パプアニューギニアのラバウルで負傷、麻酔なしで左腕を切断し失う。(『水木しげるのラバウル戦記』に詳しい) ●戦後、貧困と闘いながら漫画を描き続け、1965年『テレビくん』で第6回講談社児童文化賞を受賞。『ゲゲゲ(墓場)の鬼太郎』『悪魔くん』『河童の三平』などで人気作家となる。1991年紫綬褒章受章。●「何がといても、戦争ほど馬鹿馬鹿しいものはない」「敵さんが後ろからやってきて、味方は全滅」「8月15日、「助かった」と腹の底から思った」と語る。

「アンパンマン」・やなせたかし

●幼児や子どもたちに圧倒的人気の「アンパンマン」のやなせたかしは、1919年高知県香美郡の出身。●24歳で砲兵として中国の戦地へ。「食べ物もなく餓死する兵士もいる。食べることもできなくては正義もない。普通の人が悪魔になる戦争は悪だ。空腹の人を救うべきだ」との考えから、アンパンマンが頭を囁らせて人を救うストーリーが生まれた。



「はだしのゲン」・中沢啓治

●小学生の時故郷のヒロシマで被爆し、父、姉、弟を一度に失う悲惨な中沢自身の体験を全10巻のマンガに描く。英語版も出版。オバマ大統領へも寄贈。一千万部の大ベストセラーになって世界中で読みつがれている。(71頁)



「あしたのジョー」・ちばてつや

は、1939年東京築地に生まれるが、2歳で満州に渡る。6歳で終戦を迎え、満州国の崩壊や、敗戦に伴う暴動や略奪などの混乱、生と死が隣り合わせの苛酷な体験の中、翌年日本に引き揚げた。「いつ日本が戦争に巻き込まれるか、不安でならない」と話しています。

「釣りバカ日誌」・北見けんいち は戦時中、「銃剣術なんて何の役にもたたない」と考えていた。

「ゴルゴ13」・さいとうたかを、 「銀河鉄道999」・松本零士 もまた、マンガを描く原点にそれぞれの戦争体験や、「戦争はいけない、平和であればこそ」という思いが強いようです。

1989年に亡くなったマンガの神様 「鉄腕アトム」・手塚治虫 も勿論、反戦平和の漫画家でした。

○このページは、昨年8月9日放送の「NHKクローズアップ現代「マンガ家たちの「戦争」」を参考にして作成しました。ご覧になられた方も多いことでしょう。漫画家たちもみな、戦争を伝えたいと話しています。

「八月や 六日、九日、十五日 (はちがつや むいか こののか じゅうごにち)」
8月は、戦争特集のテレビ・ラジオ番組もたくさん放送されます!

六十年余りぶりに歸國(きこく)を果たした第二次世界大戦の若き英霊たち。

青春を捧げて国の為に命を捧げ、今や忘れられた彼らが見た日本は――。



作・演出: 倉本 聡

富良野GROUP 東京公演 2010 夏

きこく
「 歸 國 」

TBS系にてドラマ化決定!!

8/14(土)21:00~放送 終戦ドラマスペシャル「歸國」

出演: ビートたけし / 長瀬 剛 / 小栗 旬 他 豪華キャスト



○主演のビートたけし氏は、今や俳優としての演技力、また映画監督としても国際的に高い評価を得ています。

○6月12日全国公開の北野武監督のヤクザ映画「アウトレージ」には、原町区国見町出身の0さん(35歳)も出演しています。

物語

8月15日 終戦記念日の深夜。静まり返った東京駅のホームに、ダイヤには記されていない1台の軍用列車が到着した。そこに乗っていたのは、六十年余り前のあの戦争中、南の海で玉砕し、そのまま海に沈んだ英霊達。彼らの目的は、平和になった故国を目撃すること。そして、かの海にまだ漂う数多の魂にその現状を伝えること。永年夢見た歸國(帰国・きこく)の時、故国のために死んだ彼らは、今の日本に何を見たのか――。

ONHKテレビ・ラジオ第一の『ヒバクシャからの手紙』も好評で、今年は8月8日午後11時30分から放映されます。昨年は井上ひさし氏がゲストで、「アメリカに報復しようという被爆者は一人もいない。みな、こんな悲惨な戦争を二度とくり返してはいけないと話している」と感激し、そのような被爆者の態度に敬意をはらい、特記すべきことだと話していました。

♪



世界的クラリネット奏者北村英治<写真>は、1929年生まれの81歳。「私がここまで元気なのは、ジャズを支えてくれたファンのおかげ」「焼け跡闇市の思い出を語り継いでいかなければならない」「決して戦争を風化させてはならない」「日本人が年末に第九を歌うのと同じように、終戦記念日に何かを演奏してもいいのではないか」と話す。8月15日(日)終戦記念日・ゆめはっついで、「野馬追ミュージックフェスティバルコンサート」13:30から、子どもたちとともに、名曲“シング・シング・シング”などを演奏します。

事務局より

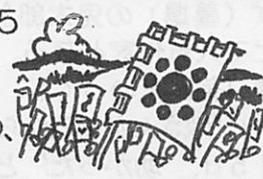
◆昨日11日の参院選の結果を皆様はどう受け止められますか。たとえどんな政権になっても、憲法9条はそのまま変えないこと、というのが私たち「九条の会」の考えです。これからは改憲を唱える政治家の言動や、その論理を厳しく監視していきたいものです。

◆この会報は毎月1回、3号分まとめて会員などへ約400通を送付します。うち原町区内150通は65円の区内特別料金で、区外の80通



は80円の郵送かメール便で、その他の170通は事務局員6名で手分けしてエッサホイサと手配りで歩いて届けています。もしも区内に手配り協力のできる方はお申し出ください。お助けください。

◆まもなく、23・24・25日は「相馬野馬追祭」です。65年前、男たちが出征し、馬も徴用されていた戦時中や、GHQに睨まれた終戦直後の野馬追祭は、どのように開催されたのか、興味深いことです。どなたか教えてください。



「はらまち九条の会」事務局員連絡先(市外局番 TEL0244)

- 平田慶肇会長 TEL24-1211
- 山崎健一事務局長 TEL22-8631(〒975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2)
- 井上由美(会計) TEL22-7511・FAX26-0892 ○石田賢二 TEL22-4037
- 早坂吉彦 TEL22-0326 ○番場恵子 TEL22-0715

原稿を募集しています。どうぞお気軽に!

<名歌>「侵略を進出という名に変えて子ら欺かん罪ゆるすまじ」許淑英